



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月29日

上場会社名 株式会社コア 上場取引所 東
 コード番号 2359 URL <https://www.core.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松浪 正信
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 市川 卓 TEL 03-3795-5111
 最高財務責任者
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,355	0.9	198	38.0	225	48.6	155	52.7
2020年3月期第1四半期	4,316	0.1	143	3.4	151	△13.0	102	△13.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 172百万円 (70.0%) 2020年3月期第1四半期 101百万円 (△9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	11.01	11.00
2020年3月期第1四半期	7.23	7.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	17,745	10,945	61.5
2020年3月期	18,245	11,157	61.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 10,918百万円 2020年3月期 11,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	27.00	27.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期1Q	14,834,580株	2020年3月期	14,834,580株
2021年3月期1Q	671,186株	2020年3月期	669,260株
2021年3月期1Q	14,164,839株	2020年3月期1Q	14,124,902株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響から景気が急速に悪化しており、緊急事態宣言の解除を受けて下げ止まりつつあるものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。一方、世界経済においても、同感染症の影響は大きく、経済活動の再開により一部で持ち直しが見られるものの、感染拡大の状況による今後の景気への影響が懸念されます。

情報サービス産業では、社会的に深刻化する人手不足を背景に、企業による合理化・省力化に向けた情報化投資が続いておりましたが、企業収益悪化の懸念から投資は弱含みであり、慎重な動きとなっております。

このような状況の下、当社グループは、拠点分散型カンパニー制をスケールメリットとした地域密着型の業務展開及びマーケットニーズに沿った高品質のソリューションを全国で同質に提供する事業体制の2つの特長を最大限生かし、ソリューションメーカーとして新たな価値を創造するビジネスを推進してまいりました。

ソリューションビジネスでは、「コアビジネス(※1)」として掲げるメディア、公共、医療、GNSS、IoT(AI)の5つにエネルギー、DXインサイト(※2)の2つの事業分野を加えて規模を拡大し、各分野間の連携強化により顧客にとっての付加価値の最大化を図り、事業の更なる拡大を図ってまいりました。

SIビジネスでは、選択と集中を行い重点的に推進する6分野(車載、デジタルテクノロジー、金融、社会基盤、農業、クラウド)において、地域拠点毎に定めた戦略をもとに顧客満足度の向上に努め、業務ノウハウを蓄積して特化技術を洗練し、各々の特長を伸ばしてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,355百万円(前年同四半期比0.9%増)、営業利益は198百万円(同38.0%増)、経常利益は225百万円(同48.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は155百万円(同52.7%増)となりました。

(※1) コアビジネス

同じ事業、マーケット、サービスを当社グループ各拠点が「横ぐし」で連携することでスケールメリットを活かすとともに、スピードある変化を取り込むことでグループ全体の成長を目指す中核事業。

(※2) DXインサイト: 「認識技術」によるデジタルトランスフォーメーション

AIによる手書文字認識技術や物体認識技術等の革新的技術を用いたソリューション。

セグメント別の事業の状況は次のとおりであります。

[セグメント情報に関する定性的情報等]

	売上高							
	S I ビジネス		ソリューション ビジネス		その他		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,489	△9.2	1,845	18.9	20	△6.7	4,355	0.9
2020年3月期第1四半期	2,742	△1.7	1,552	3.4	22	5.8	4,316	0.1
(参考) 2020年3月期	11,418		9,511		67		20,997	

	営業利益							
	S I ビジネス		ソリューション ビジネス		その他		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8	△78.0	181	90.0	8	△21.9	198	38.0
2020年3月期第1四半期	36	△0.6	95	3.4	11	18.2	143	3.4
(参考) 2020年3月期	234		1,544		21		1,800	

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

3 パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

< S I ビジネス >

金融分野において一部のシステム開発案件が立ち上がりましたが、組込み系の情報家電開発や製造業向けのシステム開発の縮小、受託型から提案型へのビジネスモデル転換の進捗により売上が減少となり、売上高は2,489百万円（前年同四半期比9.2%減）、営業利益は8百万円（同78.0%減）となりました。

< ソリューションビジネス >

コアビジネスの公共が好調だったことに加え、車載分野を中心に提案型ビジネスが堅調に推移した結果、売上高は1,845百万円（前年同四半期比18.9%増）、営業利益は181百万円（同90.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ615百万円減少し、9,114百万円となりました。これは、現金及び預金が482百万円、仕掛品が328百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1,397百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ116百万円増加し、8,631百万円となりました。これは、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が104百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は499百万円減少し、17,745百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ177百万円減少し、5,545百万円となりました。これは、賞与引当金が389百万円増加しましたが、買掛金が156百万円、短期借入金が329百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ109百万円減少し、1,254百万円となりました。これは、長期借入金が104百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は287百万円減少し、6,800百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ211百万円減少し、10,945百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が155百万円となりましたが、配当金の支払382百万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから引き続き未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,474,201	2,956,448
受取手形及び売掛金	5,180,845	3,783,842
有価証券	250,000	200,000
商品及び製品	173,835	170,433
仕掛品	692,525	1,021,514
原材料及び貯蔵品	38,928	47,950
その他	919,389	933,996
流動資産合計	9,729,725	9,114,185
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,596,389	1,574,694
土地	3,705,566	3,705,566
その他(純額)	408,980	407,667
有形固定資産合計	5,710,936	5,687,928
無形固定資産		
その他	199,938	190,276
無形固定資産合計	199,938	190,276
投資その他の資産	2,604,569	2,753,531
固定資産合計	8,515,443	8,631,735
資産合計	18,245,169	17,745,921
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,360,124	1,203,359
短期借入金	1,795,600	1,465,895
未払法人税等	509,877	193,388
賞与引当金	857,130	1,246,578
受注損失引当金	78,521	73,842
製品保証引当金	3,046	3,743
その他	1,119,223	1,359,082
流動負債合計	5,723,523	5,545,889
固定負債		
長期借入金	797,340	693,177
リース債務	173,016	171,596
繰延税金負債	79,152	66,202
役員退職慰労引当金	181,689	181,500
退職給付に係る負債	25,101	25,386
資産除去債務	31,538	31,620
その他	76,218	84,957
固定負債合計	1,364,056	1,254,440
負債合計	7,087,580	6,800,330

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,200	440,200
資本剰余金	183,645	183,776
利益剰余金	10,995,957	10,769,450
自己株式	△708,745	△709,998
株主資本合計	10,911,057	10,683,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218,528	238,709
為替換算調整勘定	1,358	△3,772
その他の包括利益累計額合計	219,886	234,936
新株予約権	17,134	16,475
非支配株主持分	9,511	10,751
純資産合計	11,157,589	10,945,591
負債純資産合計	18,245,169	17,745,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,316,833	4,355,444
売上原価	3,362,562	3,355,288
売上総利益	954,270	1,000,155
販売費及び一般管理費	810,834	802,144
営業利益	143,436	198,011
営業外収益		
受取利息	5,686	8,762
受取配当金	13,493	14,836
受取賃貸料	3,358	3,044
受取保険金	—	4,000
保険解約返戻金	1,141	1,135
補助金収入	—	6,614
その他	1,421	1,223
営業外収益合計	25,101	39,617
営業外費用		
支払利息	4,151	3,545
貸貸収入原価	1,244	1,110
持分法による投資損失	7,564	2,893
投資事業組合運用損	3,340	3,363
その他	275	919
営業外費用合計	16,576	11,832
経常利益	151,961	225,796
税金等調整前四半期純利益	151,961	225,796
法人税、住民税及び事業税	187,325	196,140
法人税等調整額	△133,005	△127,977
法人税等合計	54,320	68,163
四半期純利益	97,641	157,633
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,504	1,677
親会社株主に帰属する四半期純利益	102,145	155,956

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	97,641	157,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,744	21,535
為替換算調整勘定	174	△491
持分法適用会社に対する持分相当額	898	△6,156
その他の包括利益合計	3,818	14,888
四半期包括利益	101,459	172,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,906	171,007
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,447	1,515

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	SIビジネス	ソリューション ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,742,126	1,552,672	4,294,798	22,034	—	4,316,833
セグメント間の内部売上高又は振替高	242	28,190	28,433	3,885	△32,319	—
計	2,742,369	1,580,862	4,323,232	25,920	△32,319	4,316,833
セグメント利益	36,908	95,364	132,273	11,162	—	143,436

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。
- 2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。
- 3 調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	SIビジネス	ソリューション ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,489,466	1,845,418	4,334,885	20,559	—	4,355,444
セグメント間の内部売上高又は振替高	359	34,438	34,797	5,263	△40,061	—
計	2,489,826	1,879,856	4,369,683	25,822	△40,061	4,355,444
セグメント利益	8,134	181,154	189,288	8,723	—	198,011

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。
- 2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。
- 3 調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。